西脇市幼児教育センター通信

つなぐん　Vol.11

令和7年 12 月
発行：西脇市幼児教育センター
住所：西脇市和田町 688-47
電話：0795-22-2432
FAX：0795-22-3156
Mail：youjikyouiku@city.nishiwaki.lg.jp

☆西脇市課題別研修会　日野こども園公開保育☆

11 月 21 日（金）に、日野こども園で、第2回公開保育が行われました。保育の充実期と呼ばれるこの時期、日野こども園では、子どもたちの主体性を大切にされた教育・保育が展開されていました。 当日の様子を号を分けてお知らせします。

☆参加者の声

◎兵庫教育大学　鈴木教授助言

【1 歳児】　葉っぱ遊びを楽しみました。

保育室が落ち葉だらけになって
とっても良い匂いがしました。
桜餅の匂いでした。

☆葉っぱの量は想像を超えていました。保育室内でも秋を感じられるダイナミックな遊びができていた。

☆ダイナミックな葉っぱ遊びから制作への流れがスムーズで子どもたちも楽しんでいた。

◎葉っぱがあんなに出てくるとは思わなかった。良い量だった。落ち葉をたくさん拾ったり、消毒したりと下準備がしっかりなされている。皆（クラスの職員）の協力がすばらしい。こういう後方支援は大切。子どもたちはとても楽しそうに活動していた。苦手な子もいたが、体験しないと分からないことなので、個々のペースに合わせて、1日で終わらせず続けてほしい。

【2歳児】　マラカスを作って鳴らして遊びました。

自分の好きな素材やドングリを入れて、自分だけのマラカスを作り、楽しみました。

☆自然物の音をしっとりと丁寧に感じるところから始めておられたのが良かった。

☆作ってすぐに合奏し、楽しめていたのが良かった。

◎最初、容器に素材を1種類ずつ入れて、「さわさわ」「コロコロ」という小さな音をしっかり聞かせる時間をもたれていて良かった。2歳児は物があったら入れたいので、ザーッと材料を入れてしまうのは仕方がない。次回は材料の量などを少し制限しても良い。発散も静かにすることも大事。

【2歳児】　秋を感じる制作を楽しみました。

リンゴや柿の匂いをかいだり、形を見たりしながら、画用紙を握って柔らかくして作りました。

☆始める前から「柿とリンゴ作るねん」と子どもたちが言っていたのがほほえましかった。
☆作った後に木にぶら下げてもらってうれしそうだった。

◎子どもたちが、朝から「今日は柿とリンゴ作るねん」とても盛り上がっていた。今日までの下準備を十分にされているからだろう。また握力、体力のことを考えられているからこそ、今日の「画用紙で」の活動につながったのだろう。まずは、粗大運動ができていないと、握力にはつながらない。体を十分に動かすということをよくされているのだろう。

◎0～2歳児クラスは準備が大事。どのクラスも流れがすごく良かった。よく考えられていた。

【3歳児】　2つのクラス合同でお店屋さんごっこを楽しみました。

注文を聞いて、ミキサーを使ってジュースを作ります。（ジュースやさん）

おいしそうなドーナツをトングを使ってトレーに載せます。（ドーナツやさん）

いらっしゃいませ。どれにしますか？

お金ですか？ペイペイですか？

☆ミキサーがあるので、作る工程を楽しめていた。
☆カップがなくなると、「売り切れでーす」と言うのがかわいかった。
☆ジュースがとてもリアル。工夫されているのが良かった。

☆子どもたちが作ったかわいいドーナツをやりとりしながら売り買いしている様子が、ほほえましかった。
☆先生が一人一人に丁寧に声かけされている姿がとても良かった。

◎やりたくなる仕掛けが良い。帽子やエプロンなどをつけるとその気になる。3歳児はその気にさせることが大事。また、手順が決まっていて、やることが分かっているということが大事。
◎振り返りの時は、子どもが考えていること、感じていることを言葉で繰り返してあげることが大事。思考の流れをなぞっていくということ。子どもは「ちゃんと聞けてるね」と褒めてもらったり、共感してもらったりすることがとても大切。

4，5歳児の様子は、「つなぐん　vol.12」でお知らせします。
参加者の方からの研修報告の際にもご活用いただけるとうれしいです。　　文責：橋本